環境経営レポート

令和5年度版

レポートの対象期間：令和5年8月１日～令和6年7月31日

発行日：令和６年８月３１日

有限会社グリーンサービス加賀

1. 事 業 所 の 概 要

1. 事業所名及び代表者氏名

有限会社グリーンサービス加賀

代表取締役　北市　一博

2. 所在地

本社　〒922－0242　加賀市山代温泉39－123甲

3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	環境デザイン部　北市　弓子
連絡担当者	環境デザイン部　北市　弓子
連絡先	〒922－0242　加賀市山代温泉39－123甲
電話	0761－76－2747
ファックス	0761－76－2446
e-mail	green-kaga@estate.ocn.ne.jp

4. 事業の規模及び事業内容

設立	昭和48年8月
資本金	2，680　万円
従業員数	5名
延べ床面積	139m^2
事業内容	造園工事業、建築工事業、土木工事業 霧環境実験施設レンタル、霧発生装置、室内グリーンインテリア

車両の種類と台数	軽トラック	2台
	ユニック（4t）	1台
	2tダンプ	1台
	乗用車	3台

5. 対象範囲（認証登録範囲）

全組織・全活動　（造園工事業、建築工事業、土木工事業
室内グリーンインテリア、霧環境実験施設レンタル）

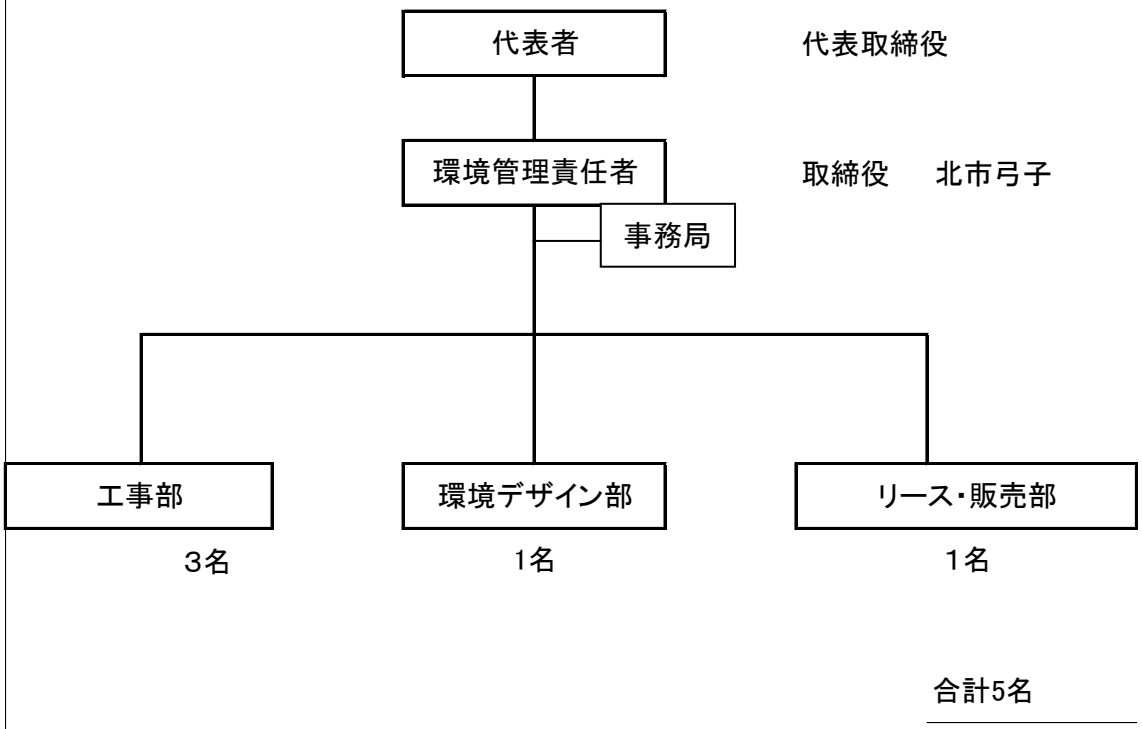
レポートの対象期間　令和5年8月1日～令和6年7月31日

レポートの発行日　令和6年8月31日

有限会社グリーンサービス加賀

エコアクション21　推進体制表

令和4年8月1日



【責任者の役割】

代表者	環境方針の制定
	環境管理責任者の任命
	環境保全に関する人、もの、金の提供
	エコアクションシステムの見直しをする
環境管理責任者	エコアクション21活動責任者
	環境活動レポートの作成、公開
	環境目標、計画の作成と進捗管理
	環境関連法律の順守評価
事務局	環境管理責任者の補佐
	進捗管理のデータ収集、整理

２. 環境経営方針

当社、有限会社グリーンサービス加賀は　粋な作品を心がけ、自分より

顧客のことを最優先させて、相手に喜ばれる仕事をすること。

２１世紀型事業として、環境にとってやさしくありたいという事を第一の理念とする。

【方針】

（1）環境に関連する法律を遵守します。

（2）工事で使用する車両、重機のガソリン・軽油の削減に努め、

二酸化炭素排出量を削減します。

（3）工事で発生する剪定枝は適正に処理します。

（4）環境に配慮した工法を用いた造園工事を行います。

（5）霧による気化熱を利用した、霧発生装置を積極的に普及させます。

（6）エコアクション21を継続的に改善しステップアップします。

（7）全従業員に、この環境経営方針を周知します。

制定　　2004年8月1日

改訂　　2021年8月1日

改訂　　2024年8月1日

有限会社グリーンサービス加賀

代表取締役　北市　一博

３．環境経営目標とその実績

（1）環境への負荷の低減目標

① 今後二酸化炭素排出量及び上水使用についても節減を励行する。

② 廃棄物量については、ほとんどが剪定枝なので、事業系一般廃棄物として処理している。

③ 当社は、一定の生産高を生み出す業種ではなく、その年の工事高にばらつきがあります。また、剪定に関しても2～3年ごととばらつきがあります。剪定枝の排出量は実績把握とし、リサイクル率を目標とします。

④ 霧発生装置の普及は実績がないので実績把握とします。

※ 電力の二酸化炭素排出係数は0.627kg－CO_2／kWhを使用しました。

令和5年度以降の中期目標は前年度を基本に1％づつ削減していくこととします。

（今後3年間の目標）　　基準値

目　標	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	23,158	22,926	22,697	22,470
水使用量	㎥	238	236	234	231
廃棄物排出量（剪定枝）	t	26.1	実績把握	実績把握	実績把握
廃棄物リサイクル率（剪定枝）	%	100.0	100.0	100.0	100.0
霧発生装置の普及	件	0	実績把握	実績把握	実績把握
霧環境実験施設のレンタル	件	7	8	9	10

平成22年度より化学物質の管理強化として消毒液の数量管理、施錠管理、表示等の取組を継続していきます。

コロナ禍も明けましたが、今後売上等は予想ができないのですが、令和5年度を基準として、二酸化酸素等は1％づつ削減することを目標とします。

（過去4年間の実績）

目　標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	23,305	24,372	23,874	23,158
水使用量	㎥	271	193	266	238
廃棄物排出量（剪定枝）	t	38.6	24.9	20.9	26.1
廃棄物リサイクル率（剪定枝）	%	100.0	100.0	100.0	100.0
霧発生装置の普及	件	0	0	1	0
霧環境実験施設のレンタル	件	8	3	8	7

① 二酸化炭素は燃料（ガソリン、軽油、灯油）及び電力の使用量に基づき算定した値である。

② 廃棄物は、樹木の剪定等によって発生した木の枝等（剪定枝）の処分量である。令和5年度は伐採工事が多かった。

③ 水使用量に関しては、天候に左右され、炎天下の続く夏には、樹木への水やりが頻繁となるため多くなる。また、霧実験施設fogspacelabo使用のお客様が増えると多くなります。

5. 令和5年度の環境目標と実績及び評価

目　標	単位	令和5年度目標	令和5度実績	実績／目標	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO_2	23,635	23,158	0.98	○
水使用量	㎥	263	238	0.90	○
廃棄物排出量（剪定枝）	t	実績把握	26.1	―	―
廃棄物リサイクル率（剪定枝）	%	100.0	100.0	1.00	○
霧発生装置の普及	件	実績把握	0	―	―
霧環境実験施設のレンタル	件	10	7	0.70	×

・評価基準：○：達成　△：1～10%未達成　×：10%以上未達成

「 評価 」

(1)二酸化炭素排出量は目標より若干減少した。工事現場で使用する軽油の燃料使用量が減少したことによる。今年度は重機を使用する工事が減少したことによる。

(2)水使用量は少なくなりました。理由として、コロナ禍で霧環境実験施設のご利用が減ったためです。

(3)廃棄物（剪定枝）は剪定の受注が少なかったので排出量が減少した。
剪定枝は全量熱回収している焼却炉（加賀市）で焼却されている。

4. 環境経営計画とその実施状況及び次年度への取組

経営計画	具体的取組内容	令和5年8月～令和6年7月評価	令和6年8月～令和7年7月評価	担当部署
二酸化炭素 排出量の削減	空調の適正化（冷房27℃、暖房21℃）を徹底する。	○		工事部
	照明の適正化、昼光の利用、SWの適正管理（トイレ、給湯室未使用時は消灯、昼休み時事務所の節電）	○		
	パソコン、プリンタ、及びコピー機等OA機器の節電を励行	○		
	自家用車、業務用（トラック、軽トラック）は待機時アイドリングストップ等の環境に配慮した運転を行なう。	○		
	建設機械については低公害車を使用し、工程を考えて使用機械の頻度数を下げて効率をよくする。	○		
産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物（コンクリート殻等）が出た場合はマニフェストの発行と管理を行う。	○		工事部
	現場で分別し、再資源化できる業者に委託する。	○		
一般廃棄物排出量の削減	事務所等で発生する一般廃棄物は町内会のゴミ置場に分別して処理する。	○		
	剪定枝はチップ化し、堆肥化し、肥料として利用したい。	×		
水使用量の削減	水使用の多くはトイレと散水です。その内の散水で使用する水は小川、用水から汲み上げて利用する。	○		全員
	水道配管からの漏れを定期的に点検する。	○		
コピー用紙	コピー用紙は再生紙を使用し枚数の多いものは両面コピーを行なう。	△		環境 デザイン部
	裏紙利用、使用済封筒の再利用を行なう。	○		
グリーン購入	コピー用紙はグリーン購入を行なう。	○		
	事務用品はグリーン購入を行なう。	○		
その他 環境への取組み	オフィスや病院等の室内の空気の浄化のひとつととして観葉植物を置くことや屋上緑化など地球にやさしい工法をアピールし、実行することで環境を考慮した社会貢献をしたい。	○		
	霧発生装置はヒートアイランド現象に対応した装置である。設定した場所では真夏など周辺より2～5℃の気温を下げる効果がある。省エネ、植物の生育にも効果的である。間接的に地球温暖化防止に寄与したい。	○		
	農薬、消毒液等に関する化学物質は数量管理、表示、施錠等の管理を徹底する。	○		

※ 剪定枝の堆肥化は計画しているが進んでいない。

6. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

法規名	順守事項	当社の順守内容	確認
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	1. 廃棄物の運搬処分は許可を受けたものが行なう。	契約書、許可証（有効期限）等を確認している。	令和5年実績なし
	2. 管理票（マニフェスト）の発行と管理を行う。	運搬は90日（B票ーA票）	
		処分は180日（E票ーA票）	
		帳簿の作成（マニフェスト管理台帳）	
	3. マニフェスト交付状況報告	前年度実績の報告（6月末までに）	
建設リサイクル法	対象工事（80m2以上の解体）は 1. 分別（CO、AS、鉄、木） 2. 請負物件の届出義務	解体工事は過去には実績なし	令和5年度実績なし
騒音規制法	重機を使用する工事全般		都度対応
	1. 騒音規制区域の確認	工事現場の指定区域の確認	
	2. 事前届出	指定区域では7日前まで市町村へ	
	3. 基準の順守	指定区域では基準を超えないこと	
振動規制法	重機を使用する工事全般		都度対応
	1. 振動規制区域の確認	工事現場の指定区域の確認	
	2. 事前届出	指定区域では7日前まで市町村へ	
	3. 基準の順守	指定区域では基準を超えないこと	
毒物及び劇物取締法	業務上取扱い者に該当	対象：消毒液、滅菌液、農薬	令和6年7月
	1. 盗難防止の施錠	1. 鍵付ロッカーで保管	
	2. 容器に表示：毒物＝赤地に白	2. 容器に表示：毒物＝赤地に白	
		劇物＝白地に赤	
		3. 保管場所に医薬用外、毒物	
	劇物の表示	劇物の表示	
	4. 事故、盗難、紛失時は警察署	4. 置場に徹底事項を表示、	
	に届出を	教育、出入り表記入	
浄化槽法	浄化槽の維持管理	定期的点検・清掃	令和6年7月
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検	3ヶ月ごとの簡易点検実施	令和6年7月

環境関連法規の違反及び苦情等は有りませんでした。

なお、関係当局より違反、訴訟等の指摘は過去には一度も有りませんでした。

環境関連法規に関しては自らが定期的に順守状況をチェックしています。

7. 霧発生装置

既設の水道水や井戸水に対応できる小型でシンプルな装置です。

従来の大型の貯水施設などを必要とせず、直接水道管に設置できます。

飲料水を利用するために、クリーンでとても経済的です。

これからの環境改善に“とびら”を開く装置と考えられます。

1.　環境にやさしくクリーンな装置です。

◇　飲料水を利用できるため、環境にやさしくビオトープ（生態環境）の保全に適しています。

2.　経済的な装置です。

◇　水に超高圧をかけて霧を発生させるため、少量の水で大きな効果を上げることができ、とても経済的です。

4. 霧環境実験室を提供しています。

◇　霧の中でのセンサー感度の検証など、様々な研究開発に役立つ実験室をご提供しております。

詳細はhttp://www.fogspace-labo.com
をご覧ください。

8. 造園空間

（造園・建築・土木設計、施工（露天風呂・坪庭・造園一式工事・石組みの施工）

前庭一式工事の施工例をご覧下さい。

1.　環境にやさしくクリーンな施工方法です。

屋上庭園の施工を応用していますのでコンクリート・やアスファルトガラ等の廃棄物の排出がありません。

2.　タマリュウを使って土の流失を防いでいます。

◇　実施した場所は真夏日に周辺より2～3度C気温を下げる効果があります。

◇　地球温暖化を防止するための緑化が経済的に実現できます。

4. 下の写真は施工前と施工後です。

着工前

完　成

９.　外部からの苦情・要望

令和5年８月～令和6年７月までの間　外部からの苦情はありませんでした。

１０.　環境上の緊急事態の対応に関する試行及び訓練の結果

スミチオン1000倍液を作る過程で、原液がこぼれた場合の訓練を実施しました。

実施日　2023年6月15日
場所　有限会社グリーンサービス加賀内
参加者　西村孝次・浦野雄一・駒谷幸枝

１１.　問題点の是正処置及び予防処置の結果

消毒薬・滅菌薬・農薬等を使用するときは、近隣住民に周知を徹底し、

また、公園等樹木消毒の時は、看板を設置して注意をうながします。

緊急事態が発生した時は、被害を受けた人を直ちに加賀市医療センターに

搬送します。事故の調査・分析を行います。

これまで、事故はありませんでした。

１２. 代表者による全体評価と見直しの結果

令和5年度（令和5年８月～令和6年７月）の代表者による見直しは令和6年８月２５日に行ないました。売り上げは建設工事が前年度継続し、ほぼ前年並みであった。北陸新幹線延伸効果を期待した観葉植物のリース等は減少傾向になりました。

また、環境経営方針は一部追加し、環境経営計画、環境経営目標は継続しました。

令和6年度へ向けては

（1）仕事量の増加と売上高を増やすこと。

生産性の向上とエネルギー資源に対して省力化と会社のゆるやかな成長を目指す。

（2）エコアクション２１のガイドラインに対応するため、化学物質の管理強化と本業目標（霧発生装置の普及・霧環境実験施設レンタル）の設定し、目標達成のため普及を強化しなければならない。

令和6年８月２５日

代表取締役　北市　一博